

ビワ生育情報

千葉県
平成29年5月号

平成29年4月の気象

平成29年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第1、第5及び第6半旬で平年を下回った。月平均気温は13.8℃で、平年より0.1℃、前年より1.6℃低かった。

降水量は、第2、第3及び第4半旬で平年を上回った。月合計は212mmで、平年の122%、前年の107%であった。

日照時間は、第2及び第5半旬を除く4半旬で平年を上回り、月合計は184時間で、平年の107%、前年の146%であった。

表1 平成29年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	9.2	11.7	13.0	11	28	29	37	27	3
2	14.7	13.1	16.2	49	26	66	10	28	21
3	13.7	13.5	14.0	68	27	22	39	28	21
4	16.2	14.2	16.4	76	37	4	34	28	36
5	13.8	15.0	16.8	0	36	43	29	30	18
6	15.0	15.7	16.2	10	20	34	36	31	26
平均合計	13.8	13.9	15.4	212	174	198	184	172	126

6月の作業

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月中旬には終了する。夏肥(礼肥)は、収穫後の樹勢をすみやかに回復させるために、適期に施用する。台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

収穫

6月上旬は収穫最盛期に当たる。市場において他産地との競合が激しくなっているので、品質の良い完熟果を出荷して、市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素5kg、りん酸4kg、加里4kg、耕土の深い園でそれぞれ5kg、3kg、3kgを施用する。

果実の発育

5月1日現在の果径は表2に示した。横径は「楠」が2.50cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ2.62cm、2.55cmであった。本年の横径は、3品種共に平年より5~15%、生育が早かった前年と比べると22~28%小さかった。

縦径は「楠」が2.87cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ2.92cm、2.93cmであった。本年の縦径は、「楠」及び「大房」は平年より3～8%小さく、「田中」は平年並みで、3品種共に前年より20～26%小さかった。

果形指数は「楠」が0.87、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ0.90、0.87で、3品種共に平年より小さかった。果形を平年と比較すると、3品種共に縦長の傾向である。

本年は3品種共に、開花がやや早かったが、3月の気温が低く推移したため、5月1日時点の果実の発育は平年より遅れている。しかし気象庁によると、5月中の気温は平年より高く推移することが予想されており、平年差が小さくなる可能性がある。十分に肥大する前に着色し始める場合もあるので、収穫適期を逃さないように注意が必要である。

本年は平年に比べ、着花房率がやや高かったが、寒害を被った幼果が多かったため、着果量は平年並みからやや少ない。病虫害ではクワゴマダラヒトリの発生は平年より少なく、果実の被害程度も平年より少ない。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で中発生年と同様の傾向を示すため、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	2.50	2.92	3.44	2.87	3.11	3.89	0.87	0.94	0.88
	青 木	2.56	3.00	3.39	2.77	3.08	3.53	0.92	0.98	0.96
	大 房	2.73	3.00	3.68	3.07	3.05	3.63	0.89	0.98	1.01
	暖地園研	2.58	2.81	3.82	2.94	2.91	3.74	0.88	0.96	1.02
	平 均	2.62	2.92	3.63	2.92	3.00	3.63	0.90	0.97	1.00
田 中	青 木	2.39	2.73	3.24	2.79	3.02	3.81	0.86	0.91	0.85
	南 無 谷	2.70	2.64	3.29	3.00	2.94	4.09	0.90	0.90	0.80
	暖地園研	2.56	2.66	3.32	3.00	2.90	3.72	0.85	0.92	0.89
	平 均	2.55	2.68	3.28	2.93	2.94	3.87	0.87	0.91	0.85

果形指数：横径／縦径

平年：昭和62年～平成28年の30年間の平均。

南無谷は平成4～8年、平成10～28年の25年間の平均。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>